

私たちは、地域住民の心と身体の健康をささえる病院として  
「こころのふれあい」を大切に、安心と満足、信頼を得られる医療を行ないます。

八幡青樹会病院 季刊広報紙

平成16年7月1日 発行  
発行責任者 広報委員会  
地域連携室

# 青葉の風

 第2号

病院の周囲に植えられている木々も雨に生えて一層青々としてきました。じめじめした梅雨空の間から時折のぞく強い日差しが夏の到来を思わせ、病院玄関の柱に巣作りしたつばめのヒナの声に、季節の移り変わりを感じさせられます。八幡青樹会病院の広報誌として今年発刊させていただきました「青葉の風」第2号をお届けいたします。今回も、爽やかな話題、嬉しい話題、ホットな話題を中心にお知らせいたします。

## ～ 八幡青樹会病院ニュース ～



**当院が滋賀県安全運転管理者協会優良事業所表彰を受けました** 総務課 小林亜矢子

6月に行われました滋賀県安全運転管理者協会総会で、当院が平成16年度優良事業所として表彰を受けました。当院では、20台近くの自動車が日常的に患者様の送迎、訪問看護、訪問介護に使用されており、日頃の交通安全、交通事故防止の取組みが評価されました。



**お花をありがとう** 看護副部長 三好 喜美子



6月2日朝、近江兄弟社高校の生徒さんと先生が季節の花々を持ち、当院を訪問してくださいました。この日は花の日の礼拝が学校行事として行われ、日頃の感謝にと、その後礼拝で集まった花束の一部を当院に届けてくださいました。早速、各病棟、各部署に花束を配り飾りましたが、受取った職員の一人は、「届けてくださった皆さんの感謝の思いに励まされ、これからも頑張りたい。」と気恥ずかしさを隠しながら語ってくれました。2年1組の皆さん、ありがとうございました。



**チャレンジデーに参加しました!** 医療社会事業課 精神保健福祉士 安原 加奈子

毎年行われている近江八幡市チャレンジデーに今年も当院は参加し、昨年に引き続き病院の周囲の清掃作業で爽やかな汗を流しました。今年のチャレンジデーの対戦相手は福岡県筑後市。業務の始まる30分前に職員寮に集合した職員は93名と昨年に引き続き高い参加を記録し、清掃後は病院周囲がすっきりと美しくなりました。地域の皆様と共に、このようなところでも当院職員のチームワークは発揮されています。



**青樹会病院野球部より** 野球部助監督 医事課主任 二国 和良

夏と言えば野球の季節。青樹会病院野球部は過去、国民体育大会、天皇賜杯全国大会、政府管掌健康保険全国大会、中部都市対抗軟式野球大会に、近畿代表、滋賀県代表として数多く出場を果たし、国民体育大会6位、天皇賜杯ベスト8、中部日本都市対抗は準優勝と活躍してきました。今年も5月末に行われました国民体育大会滋賀県大会で優勝し、8月に行われる近畿大会に出場します。また、7月には天皇賜杯の滋賀県大会、8月には政府管掌健康保険近畿大会、9月には中部日本都市対抗滋賀県大会に出場予定です。今年もすべての大会で優勝し、全国大会で頂点を目指して頑張りますので皆様の熱いご声援をお願い申し上げます。

### 喫茶カフェ・ド・歩°歩° (ポポ) コーナー

安い・早い・おいしい、と三拍子そろったCafé de 歩°歩°のメニューたち。ドリンクはどれでも100円。コーヒーはドリップ式の本格的な味を格安で楽しんでいただけます。患者様の社会復帰・社会参加、更に地域の方にも開かれた喫茶を目指し日々頑張っています。是非一度、お気軽にお立ち寄りください。従業員一同、笑顔でお待ちしております。 喫茶担当 デイケア看護師 井出 敬子



今月号の  
おすすめメニュー  
オムライス  
¥300

~~~~~ 精神保健福祉にまつわる Q&A ~~~~~

このコーナーは、当院の4名のソーシャルワーカー（精神保健福祉士）が患者様から特に質問の多い項目についてお答えします。更に詳しい内容については御遠慮なく当院ソーシャルワーカーにお尋ねください。

質問 **精神科の治療方法にはどのようなものがありますか？**

= お答え = 基本は薬物療法です。薬物療法に加えて、病状の回復や程度に応じた精神療法やリハビリテーションが行われます。

**薬物療法** 治療の基礎となるものです。症状が激しい時期（急性期）の治療は抗精神病薬と呼ばれる薬物が特に効果を発揮します。状況に応じて錠剤、散剤等の経口薬や注射薬が選択され、使われます。慢性期でも、再発を防ぎ精神療法やリハビリテーションをスムーズに進めていくためにも、長期にわたる薬物療法をきちんと受ける必要があります。

**精神療法** 患者様だけでなくその家族もさまざまな不安や問題をかかえます。診察の場や集団での精神療法を受けることで、病気や自分のもつ症状への理解を深め、精神的な安定をとりもどし、本人が再び社会や家庭での日常生活に戻れるようになることにつながります。

**リハビリテーション** リハビリテーションは薬物療法によって激しい症状がおさまった後に開始します。入院中は作業療法士などによる作業療法や、レクリエーション療法などを行います。外来ではデイケアに通所して、体力や集中力の回復を図ったり、対人関係など、生活上起こるさまざまな問題を解決する技法、ストレスへの対処法を学ぶことができます。

きまぐれエッセイ・・・ 「こころに感動を」 今月は看護部長の野々村芳子が担当いたします。



あなたが泣いたのはいつですか。最近あなたが泣いたのはいつですか？

うれし涙、悔し涙、感動の涙。すぐに思い出せますか。

ほとんど思い出せない方もいるでしょう。

大人になるほどあまり泣くことはありません。

大人になるほど自分の喜怒哀楽を表現できなくなってしまいます。

大人になって怒ることも、喜ぶことも、感動することも少なくなってしまうのは、その人生は余りにも平坦で、つまらないと思いませんか。こころが重たくなった時、思いっきり泣いてみませんか。

こころがうれしい時、思いっきり泣いてみませんか。いつもなにかを感じていたい・・・

こころの底からうきあがるときめきを・・・感じられる「人」でいたい。



**八幡青樹会病院「納涼盆踊り大会」のご案内**

～夏のひと時を、一緒に楽しんでみませんか？～

毎年の恒例行事となっています。納涼盆踊り大会を今年も予定しております。会場では、屋台やヨーヨー祭りなど、お子様にも楽しめるお祭りです。昨年より、新規外来駐車場で「納涼盆踊り大会」を開催しております。昨年は、少し雨に降られる結果となりましたが、一つ一つの出来事が良き思い出と変わることと思います。今年は、天候に恵まれることを期待し、盛大に開催できることを望んでいます。地域住民の皆様や、遠方より帰省中のご家族の皆様も、ぜひ、お気軽に足をお運びください。



昨年の納涼盆踊り大会

日時：平成16年8月11日（水）19:00～21:00 場所：八幡青樹会病院 外来駐車場（雨天時中止）

はうあゆう文庫からのお知らせ



当院の新館待合ホールの「はうあゆう文庫」は、職員や患者様の寄贈によるリサイクル文庫です。様々なジャンルの書籍が貸出し自由で運営されています。患者様の待ち時間の負担軽減に設置された草の根文庫ですが開設以来、皆様にご好評をいただいております。このたびこの「はうあゆう文庫」が手作りの木の書棚にリニューアルし、待合ホールに木独特の温かみのあるスペースが生まれました。皆様、どうぞお気軽にご利用ください。

あとがき

病院の中庭に今年からこいのぼりを飾りました。入院が長引くと何かと季節感に乏しくなり、なんとか患者様に喜んでいただこうと、設備担当職員がワイヤーロープを病棟と病棟の間に張り7匹のこいのぼりを吊りました。5月の薫風にたなびくこいのぼりに、入院患者様、外来患者様、職員も空を見上げて大喜び。中庭から聞こえてくる喚声に、こころほのぼのとさせられました。

発行 八幡青樹会病院 広報委員会・地域連携室 直通電話 0748-33-7104（医療社会事業課内）